

金村・福田は倍満でないかぎり、自分が小山田に手牌を倒される可能性は低いので、ある程度の牌は押すだろう。

しかし本線は親の和了、もしくは聴牌。

いずれにせよ次局に持越しが濃厚となつた。

そう思い、私が卓から目を離した刹那の出来事だった。

いつもと変わらぬ速さの金村の摸打音とともに、もう一つの音が重なつた。誰かの手牌が倒された音だ。

振り返ると、そこには手牌を開いている

福田の姿が在った。

何が起きたのか？ 海底？ やいや、そん

な筈は…。

忙しく卓上に視線を走らせた私の眼に飛び込んできたのは、アガれない方の牌を引き、中を抜いた金村の手牌だった。

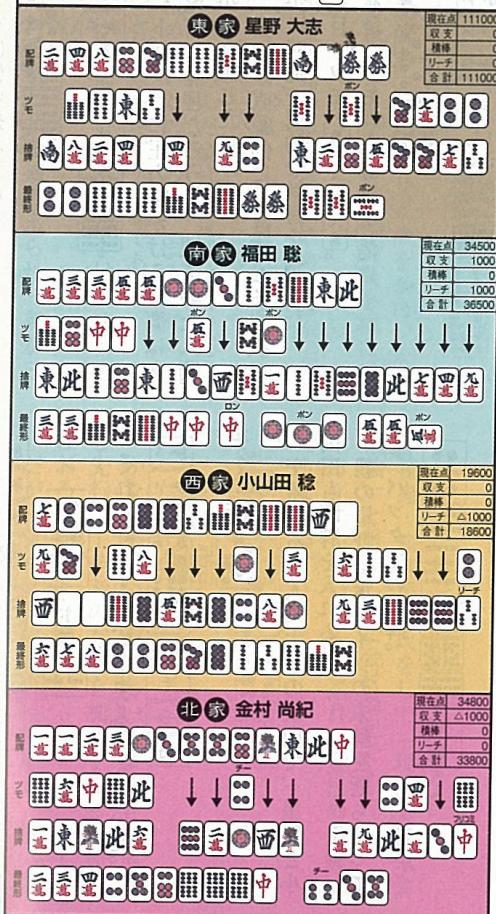
福田の姿が在った。

何が起きたのか？ 海底？ やいや、そん

な筈は…。

第20回最強戦決勝戦

南4局0本場供託0点 ドラ



第20期最強位は福田駿。

「今まで通り、古久根プロや土田プロの研究会に通いたい。まだまだ勉強中だから――」

大会終了後、福田に優勝して何か変わるか、と聞いてみた。

「福田は勝利の女神に選ばれた。ひた向きな努力と姿勢で女神を呼び込み、全国2万人の頂点に立つたのである。」

福田は勝利の女神に選ばれた。

だが金村からしたらタンヤオへ向かった一打だったのだろう。

福田の手はトイトイか翻牌しかなかつたはずだ。そして、場に見えていない翻牌は中と發のみである（南）は巡目に一枚切れ。

最後の結末は金村の放銃で終わつた。福田の手はトイトイか翻牌しかなかつたはずだ。そして、場に見えていない翻牌は中と發のみである（南）は巡目に一枚切れ。

今、戦いを振り返ると、あの日の戦いが鮮烈に脳裏に浮かんでくる。

福田の終始丁寧な姿勢、金村の強烈な存在感、全国から集いし精銳たちの情操…。

あの日、勝負を分けたものは一体何だつたのであろう。



準優勝▶金村尚紀



優勝▶福田駿



3位▶小山田稔



4位▶星野大志

麻雀は四人で打つものです。
テクニックを身に付けたり、卓
に乘らず逃げ回つたりするのは
恥ずかしいですよ。また、考え

た一般の方々に「カッコいいつ
す」と声を掛けられた時は嬉し
かったです。

麻雀は卓上で打つものです。
テクニックを身に付けたり、卓
に乘らず逃げ回つたりするのは
恥ずかしいですよ。また、考え

た一般の方々に「カッコいいつ
す」と声を掛けられた時は嬉し
かったです。

麻雀は卓上で打つものです。
テクニックを身に付けたり、卓
に乘らず逃げ回つたりするのは
恥ずかしいですよ。また、考え

特別寄稿 金村尚紀

金村尚紀

桜井章一トークライブの模様は
70ページをご覧ください

今大会は、会長より「勝ち負け
けはいいから、読者の人たちに
麻雀を見せてやれ」と言われて
いた。瞬間・瞬間を感覚的に捉
えて体で打つ雀鬼流麻雀は、皆
さんの目にはどう映つたでしょ
うかね？ 自分としては、沢山
の方々に楽しんでいただけたよ
うな気がします。後ろで覗いて
た一般の方々に「カッコいいつ
す」と声を掛けられた時は嬉し
かったです。

方々へ。

やっぽりプロは強いな、格好
いいな、と思われるような背中
を読者の人たちに見せてください
い。そうすれば最強戦がもっと
盛り上がると思いますよ！